

## 2010年上海国際博覧会

### 「ベストシティ実践区」

### 出展募集公告

- P. 2 自薦出展ケース募集公告
- P. 4 国際選定委員会の組織構造、職責及び業務制度のあり方
- P. 6 出展ケースの選定手順
- P. 7 自薦ケース記入様式
- P. 9 案内パンフレット (部分)
- P. 21 関連記事

(出所) 上記いずれも上海世博局情報 (中国語ベース)  
詳細は以下にて確認願います:  
中国語) <http://www.expo2010china.com/expo/shexpo/ylzx/zygg/userobject1ai41545.html>  
英語) <http://www.expo2010china.com/expo/expoenglish/news/sen/userobject1ai41559.html>

## 上海博「ベストシティ実践区」自薦出展ケース募集公告

2007年05月14日

上海博は2010年5月1日から10月31日まで上海で行われる。この国際博覧会は、初めて「都市」をテーマとした国際博覧会である。上海博パーク内には「ベストシティ実践区」(城市最佳実践区、Urban Best Practices Area)が設けられるが、これは国際博覧会史上重要なイノベーション(革新的試み)の1つであり、上海博で最も際立つ特色の1つでもある。「ベストシティ実践区」は上海博のゾーンEに位置し、広さはあわせて15haとなる。出展者は、リアルな実験ケースで多角的な表現を行い、都市問題のソリューションプランを示すことになる。ベストシティ実践区は展示ゾーンであるとともに展示品であって、上海博で最大のテーマ館エリアを構成し、上海博期間中、人々を惹きつけ、活力に満ちた展示エリアとなるであろう。上海世博会ベストシティ実践区国際選定委員会の同意を得て、上海世博会事務協調局は、全世界を対象として世界各国の都市が自薦するベストシティ実践区を募集することをここに公告する。

### 一、応募主体(主旨)

- 1.1 ベストシティ実践区は、その都市の所在国が上海博への参加を確定しているか否かにかかわらず、都市を出展主体とする。
- 1.2 企業、国際的組織、非政府組織、非営利団体、民間団体は、都市と協力する形でベストシティ実践区の展示に参加することができる。
- 1.3 出展都市は、自身の名義で応募する。

### 二、展示領域

- 2.1 ベストシティ実践区は、「より良い都市、より良い生活」というテーマを展開する重要な媒体の1つである。
- 2.2 ベストシティ実践区の実験ケースは主に、暮らしやすいふるさと、持続可能な都市化、歴史的遺産の保護と利用、環境建設の科学技術的イノベーションの4つの展示領域に分かれる。
- 2.3 ベストシティ実践区の出展ケースは30前後と予定される。

### 三、国際選定委員会

- 3.1 ベストシティ実践区国際選定委員会は、2007年4月25日と26日に開かれた第1回会議で正式に成立した。選定委員会の主な職責は、○ベストシティ実践区出展ケースの選定作業の作業準則と規程を定めること、○組織者が展示プロジェクトをベストシティ実践区の全体的計画案の中で確実に実施できるよう協力すること、○上海博開催期間中に、ベストシティ実践区的最優秀展示プロジェクトを選出すること、である。
- 3.2 選定委員会は、国連人間居住計画(UN-HABITAT)、BIE(BIE)、国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)、国連教育科学文化機関(UNESCO)、世界銀行、OECD、アジア開発銀行、都市自治体連合(UCLG)の代表、およびパリ市、ジュネーブ市、サラゴザ市の市長、中国政府の関連主管部門ならびに都市管理者、都市研究者が共同で構成する。

3. 3 メンバーはあわせて約 20 名。必要な場合、委員の人数は適度に調整する。

3. 4 選定委員会議長は、国連人間居住計画 UN-HABITAT のアンナ・ティバイジュカ事務局長ならびに BIE のロセルタレス事務局長が共同で務める。選定委員会事務局は上海世博会事務協調局国際参展部に設け、選定委員会事務局長は上海世博会事務協調局の周漢民副事務局長が務める。

#### 四、応募ケースに対する要求

(1) 公認の基準：ケースは国際社会から広く認められるものでなければならない。いわゆる国際社会には、世界的な影響力または地域的な影響力を持つ政府組織、非政府組織、学術団体、専門的協会等が含まれる。国際社会から認められているか否かは、権威ある関係機関から授与される賞や栄誉、サイトや出版物における推薦、権威ある関係刊行物における紹介等により表出する。

(2) イノベーションの基準：ケースはイノベーションの意味を具備していなければならない。これには、理念のイノベーション、体制のイノベーション、政策のイノベーション、科学技術のイノベーションが含まれる。

(3) 価値の基準：ケースは模範としての価値を具えていなければならない。世界的な範囲または地域的な範囲において、啓示、参考、普及の効果を及ぼすものでなければならない。

(4) バランスの基準：出展ケースは、地域、種族、文化的なバランス、先進国と途上国の間のバランスを考慮したものでなければならない。

#### 五、選定手順

5. 1 出展ケースの選定手順は、推薦、第一回選抜、審査決定、募集、再選抜となる。

5. 2 ベストシティ実践区の出展ケース指名方式は都市自薦と組織者推薦に分かれる。

5. 3 都市自薦ケースでは、国際選定委員会の第一回選抜を通過したケースについて、組織者が 2007 年 9 月 30 日までにノミネート対象都市に出展プラン募集書を発送する。応募都市の出展プランに基づき、国際選定委員が出展都市のプロジェクト再選抜を行った上で、正式な出展要請を出す。

#### 六、募集の時期と方法

今回の募集活動は 2007 年 5 月 1 日に開始され、2007 年 8 月 31 日に締め切られる。応募者は、上海博のオフィシャルサイト [www.expo2010china.com](http://www.expo2010china.com) から『上海博ベストシティ実践区自薦ケース記入様式』をダウンロードして記入する。応募者は、上述のサイトから都市出展に関する更に多くの情報を得ることができる。自薦ケースの書類は、記入した上で郵送または電子メール形式で 2007 年 8 月 31 日までに組織者の次の住所まで送達しなければならない。

中国上海浦東南路 3588 号世博大厦

上海世博会事務協調局国際参展部

郵便番号：200125

問い合わせ先電話番号：86-21-22062303, 86-21-22062429

E-mail アドレス：[fangyufeng@expo2010.gov.cn](mailto:fangyufeng@expo2010.gov.cn)

[lixin@expo2010.gov.cn](mailto:lixin@expo2010.gov.cn)

以上の通り公告する。

## 上海博ベストシティ実践区出展ケース国際選定委員会の 組織構造、職責および業務制度のあり方

上海博ベストシティ実践区出展ケース国際選定委員会（「選定委員会」と略称）は、上海博組織者の委託を受け、責任を持って上海博ベストシティ実践区出展ケースの推薦、選定、最優秀都市展示プロジェクトの選出を行う。

### 1. 職責

選定委員会の職責は次の通りとする。

- (1) ベストシティ実践区出展ケースの選定作業の作業準則、規程を定める
- (2) 組織者に対し、ベストシティ実践区に参加する出展ケースおよび候補都市を推薦する
- (3) 組織者が展示プロジェクトをベストシティ実践区の全体的計画案の中で確実に実施できるよう協力する
- (4) 上海博開催期間中に、ベストシティ実践区的最優秀展示プロジェクトを選出する

### 2. 議長

選定委員会には2名の議長を置く。国連事務次長、国連人間居住計画 UN-HABITAT 事務局長のアンナ・ティバイジュカ氏、BIE 事務局長のロセルタレス氏が議長を務める。

### 3. 委員

選定委員会の委員は上海博の組織者と BIE が協議して決定する。

選定委員会の委員は、次の国際組織、都市ならびに中国の政府機関、学術機構が共同で構成する。

国連人間居住計画 UN-HABITAT

BIE

国連環境計画 (UNEP)

国連開発計画 (UNDP)

国連教育科学文化機関 (UNESCO)

世界銀行

経済協力開発機構 (OECD)

アジア開発銀行

都市・自治体連合 (UCLG)

ジュネーブ市

パリ市

サラゴザ市

中国科学院会員、中国科学技術大学

中国建設部

中国科技部

中国可持続発展研究会<中国持続可能な発展研究会>  
上海世博会事務協調局  
上海世博土地控股有限公司

#### 4. 事務局ならびに事務局長

選定委員会事務局は上海世博会事務協調局国際参展部に設け、ここが選定委員会の日常の事務を担当する。

選定委員会事務局長は、上海世博会事務協調局の周漢民副局長が兼任する。事務局長は、責任を持って、選定委員会の会議の決議を実行し、選定委員会関連事項について調整、意思の疎通を図るとともに、事務局の業務を指導する。

#### 5. 選定委員会の会議と議題

##### (1) 第一回選定委員会会議

2007年4月25日から26日まで、選定委員会は第1回会議を開催する。その議題は次の通りとする。

- 選定委員会の組織構造、職責、業務制度についての審議とその採択
- ベストシティ実践区出展ケースの選定手順ならびに選定作業の作業準則、規程の決定
- 都市出展自薦ケースの募集公告文の審議とその採択

##### (2) 会議の合間

選定委員会のはじめの2回の会議開催の合間に、各委員は組織者推薦の出展ケース、都市自薦の出展ケースにつき、通信形式で第1回選抜を実施する。事務局は責任を持って、委員から関連の提案と意見を収集する。

##### (3) 第二回選定委員会会議

2007年9月19日から20日まで、選定委員会は第2回会議を開催する。その議題は次の通りとする。

- ケースの第1回選抜の結果に対する審査
- ノミネートする出展ケース名簿の確認
- ノミネート対象出展ケースの募集書類の審議。

##### (4) 第三回選定委員会会議

2007年年末または2008年年初に、選定委員会は第3回会議を開催する。その議題は次の通りとする。

- ベストシティ実践区出展ケースおよび候補都市の選出
- 組織者に対し、展示プロジェクトをベストシティ実践区の全体的計画案の中で実施できるよう提案を示す。

##### (5) 第4回選定委員会会議

上海博実施期間中に、選定委員会は第4回会議を開催し、ベストシティ実践区的最優秀展示プロジェクトを選出する。

選定委員会の議長は、業務上の必要に応じて、選定委員会会議の回数を増減することができ、会議の議題を調整することができる。事務局長もまた、業務上の必要に応じて、議長に対し、選定委員会会議の回数の増減または議題の調整を提案することができる。

## 上海博ベストシティ実践区出展ケースの選定手順

上海博ベストシティ実践区出展ケース選定手順は、推薦、第 1 回選抜、審査、募集、再選抜に分けられ、選定委員会が選定結果に基づき、組織者に出展ケースを推薦する。

### 1. 推薦

推薦は、組織者推薦と都市自薦の 2 種類に分かれる。組織者推薦とは、上海博の組織者が選定基準に基づき、収集、獲得した都市実験ケースを選定委員会に対して推薦する場合を指す。都市自薦とは、各都市等が選定基準に適合するそれぞれの地域の都市の優れたケースを選定委員会に対して推薦する場合を指す。

ケース推薦の締め切りは 2007 年 8 月 31 日とする。

### 2. 第一回選抜

全てのケースについて、第 1 回選定委員会の会議終了後、選定委員会委員が通信方式で第 1 回選抜を行う。

事務局が第 1 回選抜の結果を、2007 年 8 月 31 日までに上海博組織者に報告する。

### 3. 審査

上海博組織者は第 1 回選抜結果が確定した後、その結果を整理して、第 2 回選定委員会に示して会議で審査を実施する。会議で最終的に、ノミネートされた出展ケースの名簿を確認する。

### 4. 募集

上海博組織者が、ノミネートされたケースの所在する都市に対して、『上海博ベストシティ実践区出展ケース募集書』を出すとともに、その都市が所在する国の展示エリアの代表者または政府主管部門にもコピーを送付して、その国の出展と都市の出展に関する問題の調整を行ってもらおう。

### 5. 再選抜

選定委員会事務局は、応募案の収集、整理を終えた上で、全ての応募案を第 3 回選定委員会会議に示して審査を行う。第 3 回選定委員会会議が応募した都市とその展示プロジェクトについて再度選抜を行い、再選抜結果を上海博組織者に示して確定を仰ぐ。上海博組織者は確定された出展都市に対して出展要請を出す。

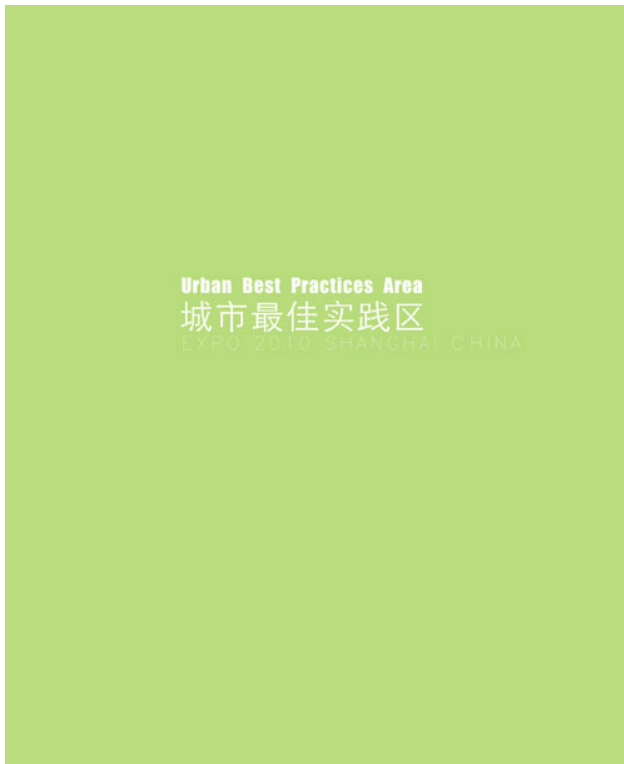
## 上海博ベストシティ実践区 都市自薦ケース記入様式

ケース ID 番号 (組織者が記入)	
ケースの名称	
ケースの所在する都市と国	
ケースがこれまでに紹介、推薦された権威ある情報源 (関連の刊行物の名称、表紙、目次、関連のファイル資料全文のコピーを提供されたい)	
ケースが授与された賞または栄誉 (賞を授与した組織の名称、受賞証明書のコピーを提供されたい)	
自薦理由	
ケースについての簡略な説明	
1、(ケースの基本的内容) 2、(ケースのイノベーション) 3、(ケースの実践状況) 4、(ケースの普及、応用の可能性)	
ケースの写真	
ケースの展示プラン、構想 (簡単に説明) :	
ケース担当者指名 :	ケースに関する連絡方法 : 電話 :                      ファックス :                      E-mail :

(参考) 博覧会テーマとの関連性

上海博 テーマの 概念領域	関連する議題	ベストシティ実践区の 展示領域
都 市 の 人々 (都会人)	<p>豊多彩な都市文化 (伝統的文化・流行の文化、土着の文化・外来の文化、消費文化、アイデア産業、デジタル時代の人と人の交流)</p> <p>多様化する都市コミュニティ (様々な所得、種族のコミュニティ、家庭構造の変化)</p> <p>職業構造・類型の変遷への対応</p> <p>高齢化社会のもたらす課題への対応</p> <p>女性と子どもの生活状況への配慮</p> <p>移民問題に対する配慮 (国際的な移民や都市と農村の間の移民問題、たとえば多元的文化の社会、就職の機会、社会の流動性)</p>	暮らしやすい ふるさと
都市	<p>都市と奥地との関係 (都市の資源ニーズ、廃棄物の処理、生態環境、都市と農村のつながり)</p> <p>都市のインフラ (ユーティリティインフラ、文化的インフラ)</p> <p>都市の公共空間 (人にやさしい環境、人と人の交流の促進)</p> <p>都市の管理 (都市と国の関係、都市計画、租税・財政体系、土地所有権、「都市の病」対策、廉潔で高効率な政府、都市の安全)</p> <p>都市の産業構造と発展の潜在力 (商品、資本、情報と人的資源の流動、及び技術革新)</p> <p>理想的な都市の形態と人間の居住モデル</p> <p>資源の好ましい循環</p> <p>都市管理への公衆の参与</p> <p>イノベーションと持続的成長の潜在力</p>	
地球	<p>世界的な人口増加への対応</p> <p>都市化が地球環境に与える影響の抑制 (地球温暖化、オゾン層の破壊、エルニーニョ現象)</p> <p>都市化が地球の生物圏に与える影響の抑制 (赤潮、森林や湿地の消失、種の絶滅危惧)</p> <p>グローバル化時代の都市間の競争、協力、交流と共同享受</p> <p>都市の「生態への足跡」の縮小</p> <p>持続可能な発展領域における都市間の交流と協力</p> <p>市民社会と国際的組織の役割</p>	持続可能な都市化
足跡	<p>遺産の保護と開発の間の調整</p> <p>都市空間と都市の記憶</p>	歴史的遺産の保護と利用
夢	<p>持続可能な発展の原理、実践、形式 (21世紀アジェンダ、生態都市、コンパクトな都市、3R)</p>	環境建設の科学的技術的イノベーション





ベスト都市実践ゾーン  
案内パンフレット(部分)  
(2007年5月14日、上海世博局)

## P4

### ベストシティ実践区の背景と目的

#### 1. プロジェクトの背景

上海は2010年国際博覧会(万博)に立候補した時点で、すでに会場内に「ベストシティ実践区」を建設する意向を示していたが、申請承認後、上海博組織委員会(中国名:上海世博会組委會)が国際博覧会事務局に提出した登録報告書で「ベストシティ実践区」の構想がより明確化された。その後、上海博事務協調局は国際博覧会事務局との協議を重ね、また国際社会・国際組織など多方面からの提案を受け入れ、「ベストシティ実践区」という名称を「ベストシティ実践区」に変更し、プロジェクトの初期計画を形成した。

#### 2. プロジェクトの目的

「ベストシティ実践区」は、単独で万博に出展する機会を都市に与え、世界的に代表的な都市を集めて、都市生活の質の向上のための新しい、価値のある、誰もが認める各種実践プランと実物を展示するだけでなく、世界の代表的都市から都市建設と発展経験が提供される交流の場とする。

P.5

ベストシティ実践区の展示分野と展示方式

1. 展示分野

ベストシティ実践区は、2010年上海博のテーマから演繹的に計画された「テーマ体现」の重要なメッセージである。万博のテーマの内容・構成を基準に、「人、都市、地球、足跡、夢」という五つのコンセプトで、幅広く関連しかつ現在世界のベスト都市実践の主流から展示に向いている内容を選定する。ベストシティ実践区には、「住みやすい家、持続可能な都市化、歴史遺産の保護と利用、環境科学技術の革新」という四つの展示分野を設ける（図1、図2参照）。

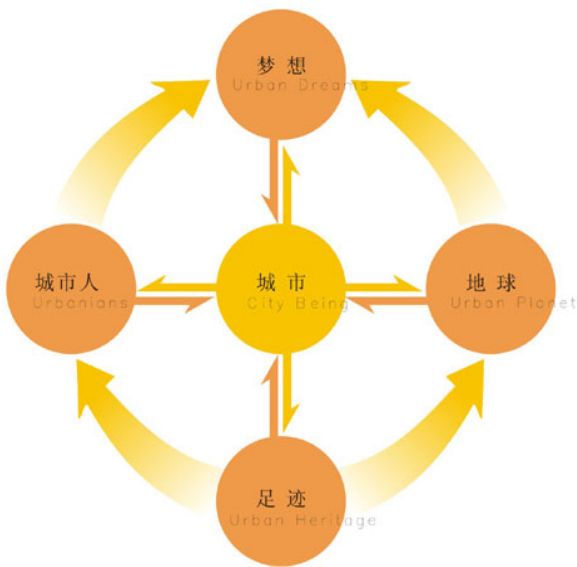


図1



図2

## 2. 展示方式

ベストシティ実践区の展示内容は実践を主とし、幅広い応用範囲をもつ将来性ある実験例も入れる。ベストシティ実践区の展示方式は実物をメインに、直観性、体験性、相互作用のある展示ゾーンを展開する。また模型、マルチメディア技術、参加型イベントも取り入れ、実物展示に効果的な花を添える。

ベストシティ実践区は展示ゾーンであるが、それ自体が出展品でもある。展示ゾーンとしては、古い工場を改造し、「住みやすい家、持続可能な都市化、歴史遺産の保護と利用」を展示分野とする一連のパビリオンを建設し、出展品としては、「環境科学技術の革新」として実物展示方式を取り入れ、建築、オープンスペース、インフラなど環境要素の最良の実践例を集大成した、暮らしのシミュレーション(町再現)ゾーンとなる。

## P.8

### ベストシティ実践区への出展主体と出展手順

#### 1. 出展主体 (主旨)

ベストシティ実践区では都市を出展主体とするが、企業、国際組織、NGO、NPO、民間団体が都市の名を冠して出展することも可。

#### 2. 出展事例の推薦

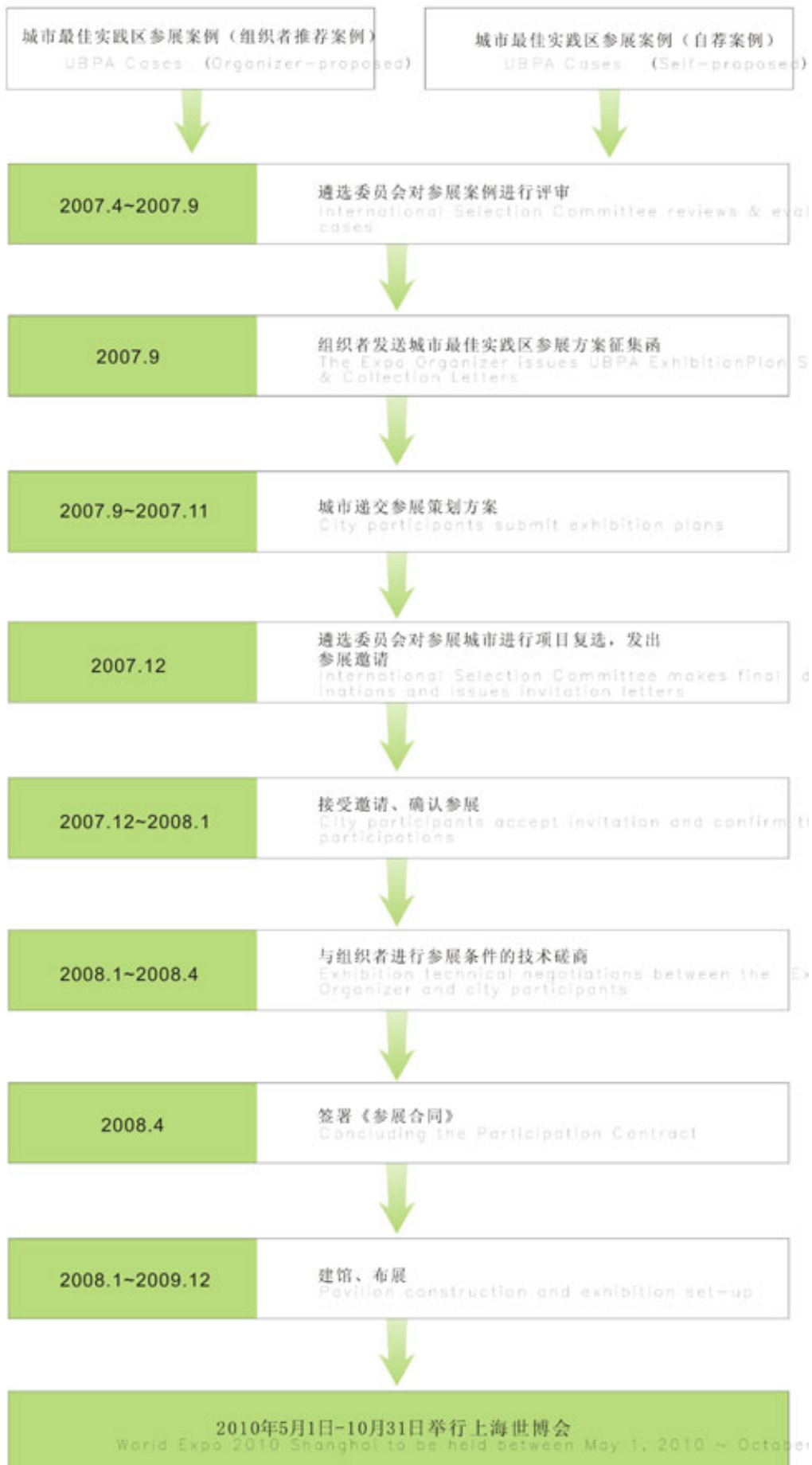
ベスト都市実践エリアへの出展申し込みは、組織者による推薦と自薦とがある。

組織者による推薦：上海博事務協調局がベスト都市実践ケースを収集する。

自薦：各都市または国際組織が自身でベスト都市実践ケースをつくる。

以上の2つの方式で集まったベスト都市実践ケースは、国際選考委員会の評価・選考で確認された後、正式にベストシティ実践区出展となる。

#### 3. 出展手順 (図参照)



#### 4. 国際選考委員会の成立

##### 1) 国際選考委員会の構成

委員長：

Mrs. Anna Kajumulo Tibaijuka (国連ハビタット執行主任)

Mr. Vicente Gonzales Loscertales (BIE (BIE) 事務局長)

委員：

国連環境計画 (UNEP)、国連開発計画 (UNDP)、国際連合教育科学文化機関 (UNESCO)、世界銀行、アジア開発銀行、経済協力開発機構 (OECD)、都市・自治体連合 (UCLG)、中国政府の関連主管部門および都市管理者、都市研究者等。メンバーは 20 名程度。

事務局長：周漢民氏 (上海博事務協調局副局長)

##### 2) 国際選考委員会の主な職務

- ・ベストシティ実践区出展モデルの選考基準を決定する。
- ・ベストシティ実践区に出展する最優秀モデルおよび候補都市を組織者に推薦する。
- ・組織者に協力して「展示」をベストシティ実践区の全体プランにまでさせる。
- ・2010年上海博の開催期間中、ベストシティ実践区的最優秀展示を評価する。

P.10

#### ベストシティ実践区の位置

ベストシティ実践区は万博会場の浦西 E ゾーンに位置する。南北に二つの街が入り、敷地面積は 15.12ha である (図 3 赤色部分)。

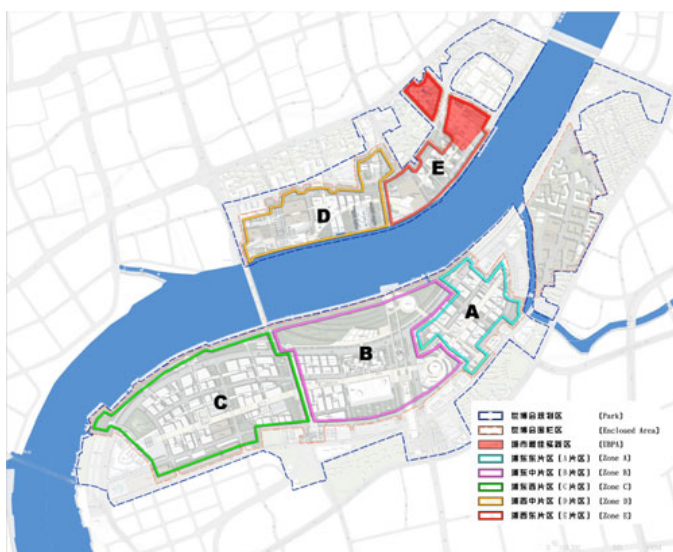


図 3

P.11

### ベストシティ実践区の敷地状況

現在、敷地は工場が多く建っており、多くの工場がそのまま、あるいは改造されてパビリオンとなる (図 4 参照)。ベストシティ実践区の南部にある街は南側が黄浦江に面しており、上海博の水上入場口が 1 か所設置される。西側は陸上入場口の一つとなる。その西側は企業パビリオンゾーンである。南北二つの街は歩道橋で結ばれる (図 5 参照)。



図 4

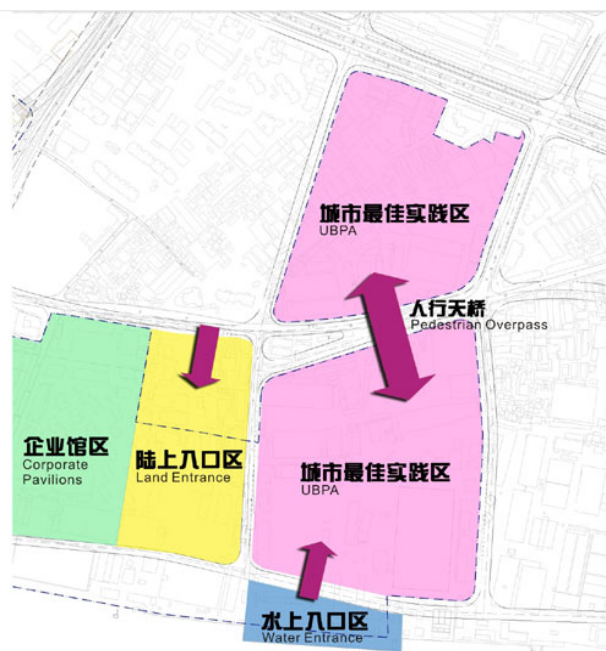


図 5

P.13

### ベストシティ実践区の計画

ベストシティ実践区は万博のテーマ館分館と密接に結びついており、南から北まで三つの機能エリアを形成する (図 6、図 7、図 8 参照)。

南エリアのテーマ館とテーマ広場とでテーマゾーンを形成し、テーマ広場はテーマ館分館とベストシティ実践区との間のコンセプトリンクでありスペースリンクとしての役割をもつ (図 9 参照)。旧南市発電所は改造してテーマ館分館となり「未来都市の探索」と命名する。新しく建設するテーマ広場は「グローバル都市広場」と命名する (図 10 参照)。



図 6

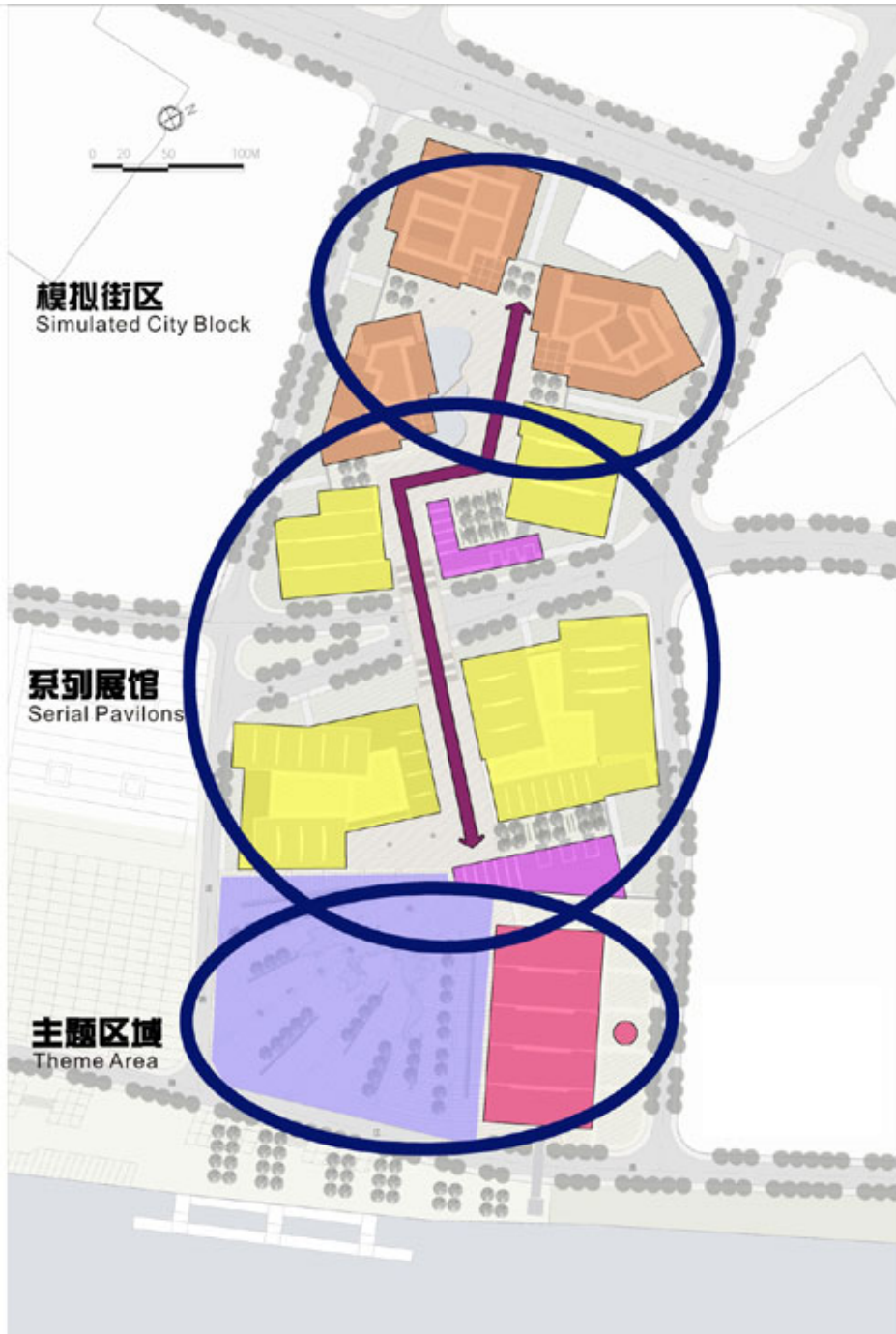


図 7

- 主题广场 Theme Plaza
- 主题馆分馆 Theme Pavilion
- 公共服务设施 Public Service Facilities
- 系列展馆 Serial Pavilions
- 模拟街区 Simulated City Block





図 8

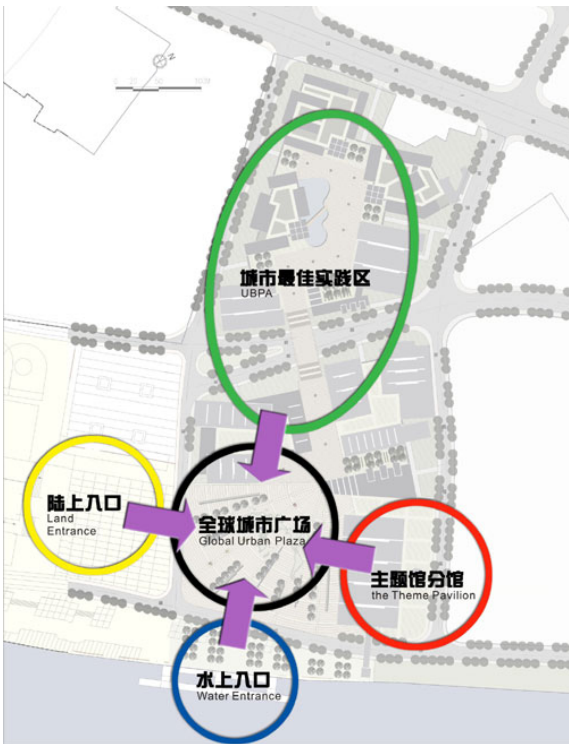


図 9



图 10

P.19

#### ベストシティ実践区の計画 [四]

中心エリアは古くなった工場を改造し、「住みやすい家、持続可能な都市化、歴史遺産の保護と利用」を展示分野とする4組のパビリオンを建設する。また、公共サービス施設を2か所設置する。北エリアの展示分野は「環境科学技術の革新」で、実物展示方式を取り入れ、建築、オープンスペース、インフラなど環境要素の最良の実践例を集大成した暮らしのシミュレーション(町再現)ゾーンとし、居住、仕事、レジャーの三つの機能をメインとした3組の建築物を設置する(図11参照)。



図 11

P.20

### ベストシティ実践区の展示面積と出展数

ベストシティ実践区の中央部分は、古い工場を改造して建設した四組のパビリオンの建築面積（合計）が約 26800m<sup>2</sup>で、15 の出展が見込まれている。1 出展あたりの展示スペース（通路を含む）は約 800～1000m<sup>2</sup>である（図 12 参照）。

北部は暮らしのシミュレーション（町再現）ゾーンは 15 の出展が見込まれており、総建築面積は約 30000 m<sup>2</sup>、建築物 12、公共スペース 1、水辺 1、インフラ 1 が建設される（図 12 参照）。



図 12

P.22

## ベストシティ実践区への出展費用と業務

### 1. 出展費用

施設建設および旧工場改造費：組織者負担（インフラ、道路、緑化、広場、付属施設、旧工場改造を含む）

パビリオン賃貸料、展示、運営等の出展費：出展者負担

北エリアの町再現ゾーン建設費：出展都市の展示物自体が環境を構成する要素であるため、出展都市が自身で資金調達して建設する（あるいは企業協賛）。

### 2. 上海博事務協調局ベストシティ実践区部について

上海博事務協調局ベストシティ実践区部は、ベストシティ実践区プロジェクトの計画から実施までの全プロセスにおいて、トップとしての役割を持ち取り纏める責任を負う。

部門の業務責任

- (1) ベストシティ実践区の展示計画の立案と策定。
- (2) 組織に加わり、ベストシティ実践区出展主体誘致を行う。
- (3) ベストシティ実践区計画および決定、建設、展示等の作業を組織して取り纏める。
- (4) ベストシティ実践区の運営管理および撤収を取り纏める。



## **ベストシティ実践区計画から万博の魅力を見る** (上海世博局ニュース、2007年5月8日)

3年後、「より良い都市、より良い生活」をテーマとしている上海博は来場者に向けて神秘のベールがはがされる見通しである。上海博は如何にして「都市」というテーマを表現するのか。来場者は一体どんなものが見られるのか。このほど、記者は「ベストシティ実践区」計画の「内部事情」を知ることができた。「氷山の一角」であるものの、この特別な展示エリアは全世界に向けて上海博の魅力を伝えつつある。

### **万博会場総面積の3%を下回る「ミニ特区」**

150余年にわたる万博の歴史において、上海博は「都市」をテーマとした最初の万博である。それに伴って誕生した「ベストシティ実践区」は上海博会場の浦西エリアに位置しており、15haほどの敷地を占めている。万博会場総面積の3%にも至っていないものの、その独創性、先見性と実践性をもって自らの特質を示している。

万博の参加主体は伝統上主権国家・国際機関でなければならない。中国政府は上海博の主催者として、「ベストシティ実践区」を増設することによって、初めて都市に独立出展のチャンスを与えることができた。この独創性に富む構想は万博申請段階から BIE の認めと賞賛を得た。計画によれば、このエリアには約 20-30 の「ベスト都市」の建設・発展ケースを収容できるという。

中身から見れば、「ベストシティ実践区」は、世界中の代表的な都市が都市生活の質を高めるためになされた、世界中に認められ革新的で普及価値のある、「住みやすい家、持続発展可能の都市化、歴史遺産保護と利用、環境科学技術の革新の形成」といった四つの内容にかかわる様々な実践案と実物を集中して展示するのみならず、世界各都市の代表に都市建設と発展の経験を交流するプラットフォームも提供する見込みであり、高い先見性を有するものである。

展示方法から見れば、「ベストシティ実践区」は老朽化した工場建屋をパビリオンとして改築するのみならず、数多くの出展実物とケースをまとめて疑似町の形で展示もすると計画している。来場者はただ展示を目の当たりに見るほか、形成された環境の実物から「ベスト都市」の居住、仕事とレジャー感覚を肌で体験することもできる。その高い実践性はこのエリアを上海博会場の「ミニ特区」とならしめるだろう。

### **皆の長所を取り入れ「ベスト」をつくり上げる**

【事例1】と畜場の廃水とゴミが環境と人体の健康に被害を与えるので、ナイジェリアのイバダン市のやり方とは、と畜場のゴミからバイオガスを取り出して土壌の地力を高める副産物を生成することである。すると、廃物も役立つものになりかわるのだ。新開発のバイオガスは伝統的な液化ガスより安く、関連の投入は約三年でコストが回収できるという。

【事例2】人口5万人を持つポルトガルのアヴェイロ市は、20世紀50年代では全国の自転車とオートバイの工業中心地だった。80年代に入ると、自動車保有量の急増で自転車の使用がやめられるに伴い、都市の汚染と渋滞問題が激化していた。2000年から、アヴェイロ市政府は改めて自転車を都市生活に導入した。具体的にいうと、都市の重要な場所に駐輪場を設置し、市民に「タダ」で自転車を使わせるというやり方である。つまり、使用者は自転車のコイン投入口に0.5ユーロを入れるだけで自由に

使用することができ、自転車を返却する際に 0.5 ユーロを取り戻すこともできる。このやり方を実施した最初の 5 ヶ月に、使用者は既に 5 万人に急増したという。

【事例 3】省エネと環境保全の理念を広めるためにオーストリアのウィーン政府は真っ先にグリーン産業の消費者となった。政府は省エネランプなどの生態製品を購入して関連産業の持続可能の発展に力を貸すのみならず、学校でも学生に有機食品のメリットを紹介し更に「有機」の概念を学生家庭に広めつつあると共に、市民が生態商品を購入し、農薬などの化学品の使用を減らし、動物とむつまじく共存する更に健康的な生活習慣をつけるよう推薦しているという。

【事例 4】1999 年、スウェーデンのクリスチャンスタッド市は「ノー鉱物燃料の町」という大胆な目標を提起した。ここはまず生物エネルギーを燃焼する熱電併給工場と集中型熱供給施設をつくり、毎年 7.5 万トンの二酸化炭素排出量が減少できており、バイオ燃料が都市周辺の半径 100 キロ地域以内の森林廃棄物から得たものである。それに続き、汚水からバイオガスを分離する工場が設立され、自動車燃料の提供にのみ使用されている。ほかに同市は 11 基の風力発電機と 1 基の水力発電機がある上、自転車使用の推薦や自転車専用道の増設などの補充措置も進められている。現在、7.5 万人の人口を持つクリスチャンスタッド市はまさに「ノー鉱物燃料の町」と生れ変わった。

【事例 5】コミュニティ交通システムの調整に従い、ドイツのカッセル市内の電車駅ビルはお飾りの建築となった。現地政府はこの地域を再生させるために、主に新たな媒体、文化（映画、コンベンションと大型会議などを含む）と教育内容を導入することで古びた駅をして新たな都市活動の受け皿とならしめ、鮮明な文化的特徴を持つイベント地と変身させた。それによりコミュニティの衰微をうまく避け、遊休場所の再利用モデルを開拓することができたのだ。

### 各レベルの選定を通じ「ベストシティ実践区」が上海で花咲く見通し

上記の各分野で優勢と特色を持つ都市発展のケースは計 70 数件あり、何れも上海博「ベストシティ実践区」選定委員会の視野に入った。これらのケースは世界各国の都市発展における難題を解決し「ベスト都市」を探索する道でなされた努力を反映したもので、モデルとトップラインナーとしての価値がある。

上海博執行委員会の責任者の説明によれば、70 数件のケースはそれぞれこのほどの国連ハビタット賞、国連ハビタットの居住環境範例ベスト賞、EU の「再生可能エネルギー普及賞」などの情報ルートから選ばれたものだという。「ベストシティ実践区」を成功に創立・展示するべく、上海博は専門の国際選定委員会を設立し、BIE 事務局長と国連ハビタットの執行主任が委員長を務め、20 人に近い委員がそれぞれ国連の関連機関、世界銀行、アジア開発銀行、OECD 及び中国政府の関連主管部署から来たものである。現在上海博の「ベストシティ実践区」の全世界に向けた出展誘致が世界中の数多くの都市の積極的な呼応を得ている。

計画によれば、各レベルの選定を経て、「ベストシティ実践区」は来年年末までに 20-30 の出展対象を確定し出展誘致を完成させ、2009 年年末までに関連の展示配置を終了させる見通しで、最終的に上海博のテーマを示す重要なプラットフォームの一つとなるだろう。BIE 事務局長のロセルタレス氏の予言によると、一つの試みとして、「ベストシティ実践区」は生き生きとして活気に満ちた内容をもって世界各国都市間の提携を推進し、持続可能の都市発展の道を共同して探求し、上海博のハイライトの一つとなるだろうという。